

令和5年度
川俣町地域学校協働活動事業実施計画

地域学校協働本部

令和 5 年 4 月 1 日

川俣町教委訓令第 1 号

川俣町地域学校協働活動推進事業実施要綱

(目的)

第 1 条 地域と学校が連携を深め、一体となり「地域と学校の連携・協働」を目指した地域学校協働活動推進事業（以下「事業」という。）を実施するものとし、その実施に関し必要な事項は、この要綱の定めるところによる。

(地域学校協働本部)

第 2 条 事業の効果的な推進を図るため、地域学校協働本部を川俣町教育委員会に置く。

2 地域学校協働本部は、次に掲げる活動を行う。

- (1) 連携・協働活動（地域課題解決型学習、地域人材育成・郷土学習、地域の行事等への参画等）
- (2) 学校支援活動（学習支援、環境整備、安全確保等）
- (3) 放課後の学習活動（たのしい教室、土曜・長期休業学習プラン等）
- (4) 広報活動（おたよりの発行等）
- (5) 前各号に掲げるもののほか、地域住民等の連携及び協働に関する活動

(地域学校協働本部事業運営委員会)

第 3 条 地域学校協働活動の運営方法等を検討するため、川俣町地域学校協働本部事業運営委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(委員会の委員数)

第 4 条 委員会は委員 10 人以内で組織する。

(委員会の委員)

第 5 条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行

う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱する。

- 2 委員の任期は2年とし、再任することを妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会の会長及び副会長)

第6条 委員会に会長及び副会長をそれぞれ1人置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選で選任する。

(委員会の会議)

第7条 委員会は会長が招集する。

- 2 最初の招集は教育委員会がする。
- 3 会長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聞くことができる。

(報償金)

第8条 委員の報償金は、1回あたり2,200円とする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、生涯学習課において処理する。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この訓令は、令和5年4月1日から施行する。

令和5年度川俣町地域学校協働活動プラン

【川俣町の教育課題】

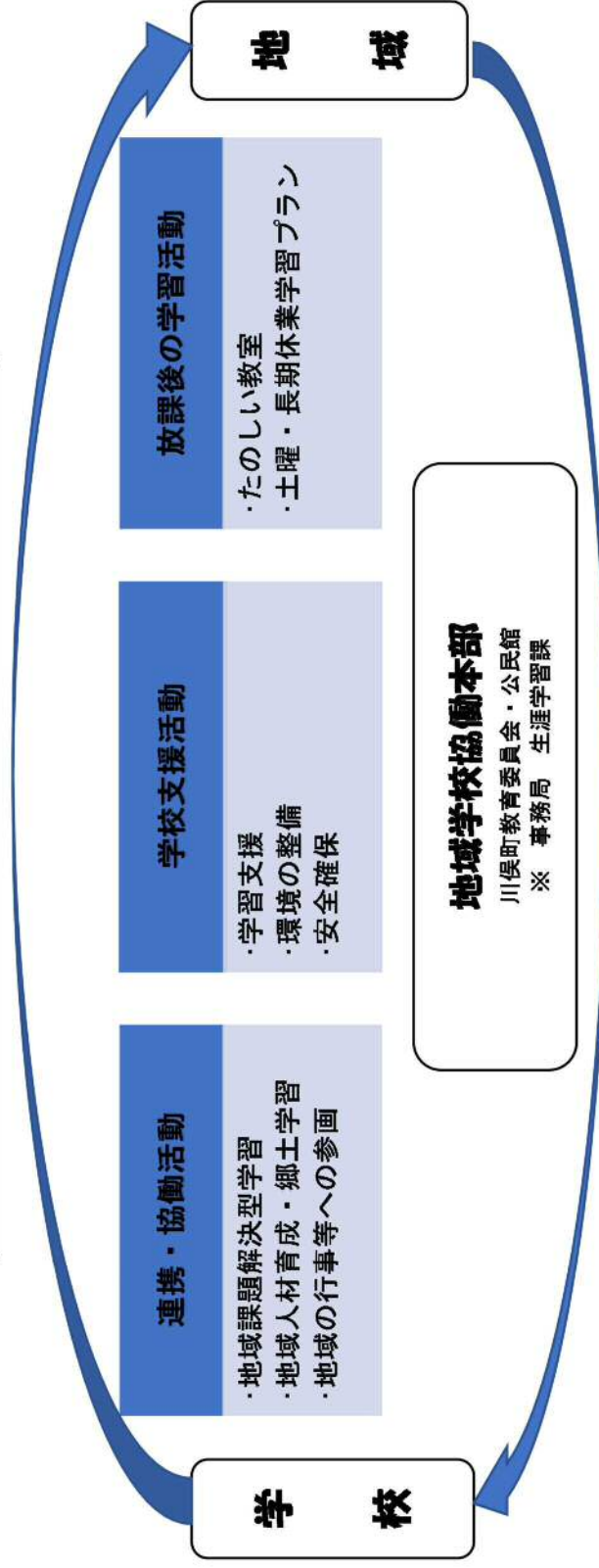
- ・少子化の克服
- ・多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨できる子どもに

未来をひらく 創造性豊かで たくましく生きる川俣の子ども

- 1 豊かな心と創造性をもつ人間
- 2 意欲的に学び 正しい判断力をもつ人間
- 3 健全な心と体をもち 活力あふれる人間

【社会全体の課題】

- ・少子高齢化
- ・グローバル化や情報化の進展
- ・地域社会のつながりや支え合いの希薄化による教育力の低下



1 地域学校協働活動について

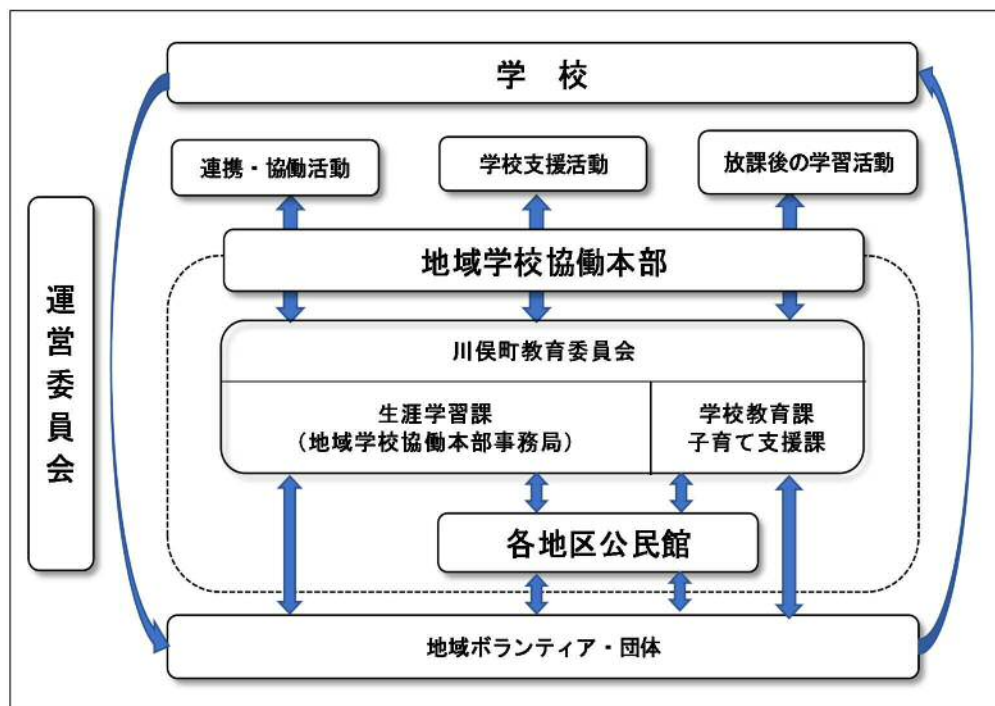
(1) 地域学校協働活動の目的

「地域学校協働活動」とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動である。

川俣町の未来を担う子どもたちが地域の方々に支えられながら学びや活動を体験することにより、ふるさと川俣に対する愛着を養い、「未来をひらく創造性豊かでたくましく生きる川俣の子ども」を育成することを目的とする。

(2) 地域学校協働本部

地域学校協働本部は、川俣町教育委員会が公民館と連携を図りながら、幅広い層の地域住民、団体等の参画を得て地域学校協働活動を推進する体制である。地域と学校をつなぎ、地域学校協働本部事業の効果的な推進を図っていく。



連携・協力体制図

2 地域学校協働活動の内容

(1) 連携・協働活動

① 地域課題解決型学習

地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え実行したりする学習活動

② 地域人材育成・郷土学習

子どもたちが「ふるさと川俣」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする学習活動

③ 地域の行事等への参画

地域の伝統行事、イベント、お祭りなどに、実際に担い手として参画したり、地域の自然を生かした活動を体験したりする活動

(2) 学校支援活動

① 学習支援

地域ボランティアが、子どもたちの学習を深めるために専門的な知識や技術を生かしたり、子どもたちの学習活動をよりよく進めるためにサポートしたりする活動

② 環境の整備

地域ボランティアが、安全で快適な教育環境を整える活動

③ 安全確保

地域ボランティアが安全確保等、子どもたちが安全に活動できるようサポートする活動

(3) 放課後の学習活動

① たのしい教室

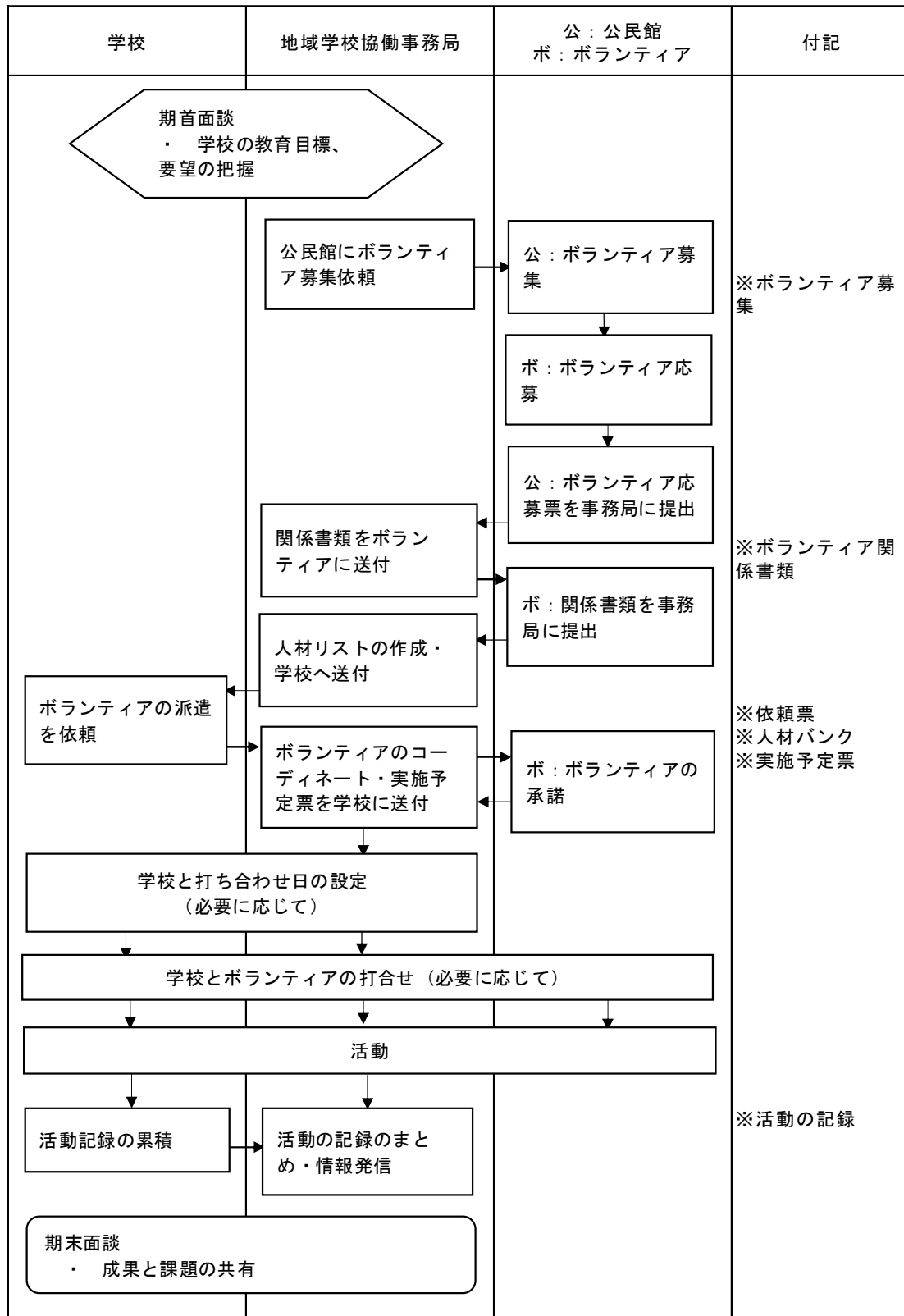
子どもの放課後対策として学校や地区公民館を活用して子どもたちの安全な居場所を設け、学習やスポーツ、交流活動等を体験・学習できるよう地域の方々の協力を得る取組

② 土曜・長期休業学習プラン

土曜日や長期休業中に地域の施設や学校等を活用して、学習習慣と学

習内容の定着と補充を行う取組

3 地域ボランティア派遣手続きについて



4 年間計画

	計 画
4	学校と期首面談・学校のニーズ把握
5	公民館事業推進会議（※1） ボランティア募集開始・人材バンク作成 運営会議（※2） 地域学校協働活動担当者会議（※3）
6 ～	地域学校協働活動
1 1	公民館事業推進会議（※4）
1 2	
1	事業の評価・活動のまとめ
2	地域学校協働活動担当者会議（※5）
3	次年度計画作成

※1 内 容：1年間の活動の見通し

参加者：各公民館長・副館長・主事 教育委員会生涯学習課

※2 内 容：事業の説明

参加者：運営委員会委員 教育委員会生涯学習課

※3 内 容：事業推進

参加者：各学校長・教頭・地域連携担当教職員
教育委員会生涯学習課

※4 内 容：前期活動の振り返りと今後の活動の見通し

参加者：各公民館長・副館長・主事 教育委員会生涯学習課

※5 内 容：事業の振り返りと次年度に向けて

参加者：各学校長・教頭・地域連携担当教職員

5 地域ボランティア

(1) 目的

より多くの地域人材の参画を得て地域学校協働活動を推進し、地域と学校の連携を深めるために、地域ボランティアを募集する。

(2) 地域ボランティア対象者

○ 公民館利用者（講座受講者等） ○ 地域住民 ○ 公民館推薦者

(3) 募集方法

- 各地区公民館を通して募集する。
- 応募者は各地区公民館に提出し、主事さんが中央公民館へ持参する。
- 応募者には、後日、関係書類を送付する。

(4) 募集期間 令和5年4月～（随時受付）

(5) 募集内容

- 学習支援
 - ・ 学習サポート 昔遊び ・ 野菜作りサポート
 - ・ 家庭科学習サポート
 - ・ 水泳学習見守り
- 環境整備
 - ・ 花壇の整備 ・ 校庭・校地内の除草 ・ 校地内樹木の剪定
- 安全確保
 - ・ 校外学習見守り

(6) その他

- ボランティア応募者には、後日案内を送付する。
- 広報等に写真・文章を掲載する承諾書をとる。
- ボランティアの心構え、ボランティア活動等についてのパンフレットを作成し送付する。

6 広報

(1) 目的

学校への理解促進と信頼関係構築、より多くの地域人材の参加促進につなげるために、地域学校協働活動に関する情報を発信する。

(2) 方法

- 印刷物配布
- 公共施設掲示板への掲示

(3) 発信先と配布方法

- ボランティア…封書で発送
- 地域住民…公民館に持参し、利用者が自由に取りれるようにする。
- PTA・保護者…学校に持参し、学校で配布してもらう。
- 学校評議員…封書で発送する。
- 地域学校協働本部（教育委員会、推進員、各地区公民館）…持参する。
- 社会教育員…封書で発送する。
- 関係施設、団体（社会福祉協議会等）…持参する。

(4) 内容

- 地域学校協働活動の活動紹介（参加者の感想、写真等）
- 各地区公民館の活動予定

(5) その他

- 事務局が発行する。
- 年に2回程度発行する。
- 内容が公民館からのお知らせのみの場合は、小学校・公民館に限る。

様式1

地域学校協働活動ニーズ調査票

() 学校 第 学年

月	教科・領域	活動内容・依頼内容・時間数 等	必要な地域人材・人数等
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
1			
2			

3			
---	--	--	--

様式2

令和 年 月 日

宛先：川俣町教育委員会生涯学習課

発信： 学校

地域学校協働活動依頼票

学校名	学校	
学年・組・人数	年 組 人	
指導者名		
活動日	令和 年 月 日 曜日 : ~ :	
予備日	※ ₁ 令和 年 月 日 曜日 : ~ :	
活動場所		
教科・領域等	※ ₂ ☐ 教科等 ☐ 総合的な学習の時間 ☐ 学校行事等 ☐ クラブ活動・部活動 ☐ 環境整備等 ☐ その他)	
活動名		
ねらい		
ボランティア人数	人程度	
ボランティア名等	※ ₃ 名前 () 連絡先 () 名前 () 連絡先 () 名前 () 連絡先 ()	
ボランティア役割		
事前打ち合わせ	※ ₄ ☐ 必要あり 希望日 月 日 : 場所 ☐ 必要なし	
伝達事項	※ ₅	

- 記入について
- ※₁ 予備日を設定されている場合はご記入ください。
 - ※₂ 該当する教科・領域に○を付けてください。その他の場合は、具体的にご記入ください。
 - ※₃ 事前にボランティアの方が決まっている場合は、お名前と連絡先をご記入ください。
 - ※₄ 事前打ち合わせが必要あり・なしに○を付けてください。必要ありの場合は、ご希望される日時をご記入ください。
 - ※₅ 準備物等、ボランティアに事前にお伝えすることがある場合はご記入ください。

様式3

令和 年 月 日

宛先： 学校 様

発信：川俣町教育委員会生涯学習課

地域学校協働活動実施予定票

下記の内容で実施となりますのでよろしくお願いいたします。

学校名												
学年・組・人数	年		組		人							
指導者名	先生											
活動日	令和	年	月	日	曜日	:	～	:				
予備日	令和	年	月	日	曜日	:	～	:				
活動場所												
教科・領域等												
活動名												
ねらい												
ボランティア名	さん			さん			さん					
	さん			さん			さん					
	さん			さん			さん					
	さん			さん			さん					
事前打ち合わせ	希望日	月	日	:	()	場所						
備考												

様式4 地域学校協働活動記録票

	内容	学校名						
教科・領域等								
活動名								
ねらい								
活動日	令和	年	月	日	曜日	:	～	:
学年・組・人数	年	組	人					
指導者	先生							
ボランティア氏名	さん	さん	さん					
	さん	さん	さん					
	さん	さん	さん					
	さん	さん	さん					
活動の様子	※ 1							
次年度に向けて	※ 2							

記入について

※1 児童・生徒の声など、活動の様子をご記入ください。

※2 次年度に向けて、成果・課題、改善案・留意点等をご記入ください。